MIRSの無線LAN使用に関して

2012/1/11

 ---

１．無線LANを用いる利点

　完全カーブルレスでの、テストが可能。

　これにより、競技場でのテストを効率的に行える。

２．無線LANアダプタの接続

　OS起動後に、無線LANアダプタをUSBポートに接続する。

　（OS起動前にアダプタを付けておくと、OSの起動に非常に時間を要する）

３．無線LANのIPアドレスの確認

　sysconfig -a

 または

　sysconfig eth1

 eth1 が無線LANアダプタ （eth0 は有線LA）

 ２行目のIPアドレス情報が、

　172.21.3.11x になっていれば、無線LANが使用できる状態になっている （xはアダプタに依存）

４．無線LAN監視デーモン

 10秒毎に無線LAN接続状態を確認し、接続が切れていれば再接続するデーモン

 /home/mirs/etc/wlan-watch.sh

５．無線LAN監視デーモンを停止する方法

　無線LANアダプタを付けていない状態で、無線LAN監視デーモンが動いていると、

　制御に影響を及ぼすことがある。

　以下のいずれかの方法で、デーモンを停止する。

　1 自動起動を止める。

 　/etc/rc.d/rc.local の最後の行をコメントアウトする。（再起動時に有効）

　2. 起動しているプロセスを停止する。

 　 ps ax | grep wlan

 　kill プロセス番号

６．リモートログインの方法

　Linux の場合

 　　ssh -X mirs@172.21.3.11x

　　-X オプションを付けることで、リモート（＝MIRS）のウィンドウをローカル(PC側）に表示できる。

　Windows の場合

　　TeraTerm の SSH対応版をインストールして、ログインする。

　　（リモートのウィンドウを表示するためには、Xサーバソフトをインストールする必要がある。）

　root権限を必要とする作業を行う場合は、起動後に、su（スイッチユーザ）して行う。

７．ノートPCの利用

　MIRS用に無線LANアダプタ（SSIDが MG3）を、工作室と１階廊下に設置している。

　（体育館の使用時は、工作室のものを体育館に移動して使う）

　MG3は MAC アドレス登録制なので、この無線LANを使う場合には、ノートPCの

　MACアドレスを牛丸まで知らせること。（メールでもよい）

　MG3のパスフレーズはその際に知らせる。